

発 言 通 告 書

発言者氏名	本石篤志
発言の会議	平成27年 9月15日 本会議
発言の種類	質 疑、 <u>一般質問</u> 、緊急質問、討 論、その他
質疑等の方式	一 括、 <u>一問一答</u>
答弁を求める者	市 長

【件名及び発言の要旨】

1 教育のICT化の見直しについて

- (1) 再編交付金終了を見据え、外国語指導助手（ALT）配置の検証はされるのに、同じ再編交付金を費やした教育のICT化の内容の検証をしないことに関する市長の所見について
- (2) 再編交付金が一つの区切りを迎える平成28年度までに、現在までの本市における教育のICT化の見直しを行い、財源を考慮した「教育の質の向上」と「児童生徒の学力向上」を目指す今後10年を見据えた整備のイメージを策定すべきとの考えに関する市長の所見について

2 市の保有する電子情報の安全対策について

- (1) 万全のセキュリティ設備を備えた専門事業者の堅牢なデータセンターへ市民の電子情報を取り扱う機器の移設を行う検討を、費用対効果を勘案しながら実施すべきとの考えに関する市長の所見について

3 音声翻訳技術「こえみる」による企業誘致の促進について

- (1) 横須賀発の音声翻訳技術が全国に広まり、その技術を使って新たな市場の拡大を求める企業のY R Pへの誘致の促進につながるよう、トップセールスとして今日まで実施してきた内容と今後の予定について
- (2) 行政と議会とが互いに協力して横須賀発の音声翻訳技術について全国に発信し、都市イメージのアップとその音声翻訳技術を使って新たな市場の拡大を求める企業のY R Pへの企業誘致の推進へつなげるべきとの考えに関する市長の所見について

4 認知症施策の推進について

- (1) 「もの忘れ相談や関係機関との同行訪問」を発展させて「認知症初期集中支援チーム」を試験的に1チーム編成し、40歳以上で認知症が疑われる方、認知症の方で医療サービス、介護サービスを受けていない方または医療サービス、介護サービスを受けているが認知症の行動・心理症状が顕著なため対応に苦慮している方を対象者に支援を行い、事業効果の確認を行うべきとの考えに関する市長の所見について
- (2) 将来の認知症カフェの設置に向けて、現在実施している事業の「もの忘れ相談」や「認知症高齢者介護者の集い」などで、認知症の方やそのご家族のニーズを調査し、分析すべきとの考えに関する市長の所見について